

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問  
(期間:平成24年11月15日～平成24年11月28日)**

## 原子力発電に関する

○年 齢 : 76歳～80歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

原子力委員会 近藤 駿介 委員長殿  
分)

(前半

この文書は政府18省庁、原発所在県知事、電力各社に送付しております。日本国力復活の為に是非この内容を推進して下さい。心よりお願い致します。

(削除)

原発地盤の論議は止め先ず発電再開を！

私は今年3月と6月に原子炉の再稼働等について、政府各省庁・機関、電力各社、原発所在県知事、都知事、大阪市長、主要新聞社に意見を発信した者ですが、この時申し上げた趣旨は、原発の安全性を高める費用は原発を稼働させて電気を売り、その利益でまかなう事、石油や天然ガスによる発電は国益を損なうばかりか、電気料金の値上げを招き、生産コストを押し上げて国際競争力を失わしめる結果にしかならないので、火力発電を止める事でした。(つづく)

※<個人情報の保護その他について>の考え方に基づき一部を伏せさせていただきました。

## 原子力発電に関する文書送付

○年 齢 : 76歳～80歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

(続き) 然るにこの点が進展していない事に加えて、地下の断層の問題で原発の再稼動が更に停滞していますが、これは誠におかしな幼稚な議論で、やっている事は無駄な作業だと思います。

何故なら、皆さんは地球が40億年をかけてどの様に生成されて来たのかを、良く知っていると思うからです。

ご存知の通り地球は鉱物がどろどろに溶けた状態から徐々に固まり、水が発生し、生物が発生し、それが動物と植物に進化し、地表の大陸や島は地殻の中心のマグマの流動につられて移動し、日本列島だけ見ても、大陸から分離し、伊豆半島は南から押し寄せて、丹沢山塊が盛り上がったといわれ、丹沢のみならず那須塩原周辺からも貝の化石が出ています。ヒマラヤがそうである様に、北アルプスや南アルプスなども地下から隆起して出来たといわれています。火山による隆起もあります。

つまり、大地はことごとく地表の移動の結果として現存しているのです。移動は当然地震を引き起こしますから、地下に移動や地震の痕跡があるのは当たり前でしょう。移動や地震の痕跡のない土地は地球上の何処にあるのでしょうか？ (つづく)

## 原子力発電に関する文書送付

○年 齢 : 76歳～80歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

高層ビルを建てるにしても、トンネルを作るにしても、東京ガスの液化天然ガスのトンネルや巨大な瓦斯貯蔵タンクを作るにしても、この点を考慮して強度を計算して作成しているのでしょうか。原発も頑丈な鉄筋コンクリートの土台を作り、その上に原子炉を築いています。ですから柏崎原発の地震事故でも明らかな様に、原子炉本体その物は問題なく、配管や付随する建物などに問題が出ました。

つまり土台の強度は証明されたのです。福島の場合も土台が壊れたり歪んだという報告はありません。

もしも、原発の地盤が問題なら、高層ビルや巨大な瓦斯タンクは大丈夫と保証出来るのでしょうか。

さて結論ですが、ポピュリズムを排除して、以下の事を住民に通知して実行する事です。ポピュリズムでは国家の統治は出来ませんから！

一、地殻の調査は即座に中止すりこと。

二、点検済みの原発は総て稼動すること。(つづく)

## 原子力発電に関する文書送付

○年 齢 : 76歳～80歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

(続き)

三、火力発電用燃料の輸入を止めること。

四、第二で稼いだ収益と第三で浮いた費用で次のことを行うこと。

1、冷却システムの配管や配電管・通信管の曲がり角を振動に強いフレキシブルな素材に変えて、耐震性を強化すること。(銅製の導波管利用など)

2、停電用電源設備を谷間でない標高30メートル以上の場所に移設すること。

3、発生する水素を、窒素で薄めるのではなく、燃料として発電に利用するか、ボンベに詰めて溶接用に販売するなどの技術確立し、水素爆発を無くすこと。

4、原子炉の土台に心配がある場合は、鉄筋コンクリートで厚さや面積を広げるなどの補強工事を行うこと。

5、津波対策は堤防の構築ではなく、発電所の周囲を必要な高さの防水壁で囲う方が距離が短くて、得策と思うのでこれを検討し実施すること。

以上

## メールマガジンの内容(11月近藤氏分)

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

＞政府と自治体、電気事業者の間には安全に係るガバナンスがあるしとの記述がある。

ガバメントとは上からの統治。ガバナンスは水平的な統治と対比される。少なくとも政府は電気事業者を規制、上から統治すべき存在である。原子力委員会もしっかり電気事業者を統治すべきである。そのためにも、東電や電中研など事業者からの委員は即座に退任させるべきである。

## 問題の本質をすり返るな

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社役員

○都道府県名: 東京都

○ご意見の内容:

### 原発問題

一番悪いのは、電力会社と経産省である(合わせて原因の8割)。

こいつらがきちんとした責任を取ることなしに、今後の原発是非を論じても意味が無い。

波の音がザブザブ聞こえる原発の地下に冷却用発電機を置けば、万が一の床下浸水で緊急事態になることを何故誰も想定しなかったのか。

誰も責任を取らない体質だから事故が起きたのだと思う。  
だから今のままの責任体質なら、次も同じような事故が起きるだろう。

## エネルギー・環境戦略の解釈について

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

人材育成についての見解への意見、への回答で、「政府の革新的エネルギー・環境戦略によると、原子力規制委員会の安全確認を経た原子力発電所は重要電源として活用するとしていることから」が多用され、人材育成が正当化されている。

この文章の前段には、「第一の柱は、「原発に依存しない社会の早期実現」とある。

原子力委員会としては、撤退戦略をまずは描くべきである。



## 高レベル放射性廃棄物最終処分地について

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名 : 滋賀県

○ご意見の内容:

H24年11月27日のプレスリリースの原子委員会の見解案に賛同しますが、選択肢として、国際協業による解決方法も並行して検討することを願います。

### 1.概要

人間が住むことに適していない広大な土地を有し且つ地質的に最適な国と協業して、国際ルールに基づき、国連・IAEA等の管理下で処分地を管理する。

例:凍土地帯、砂漠、採掘跡地、核実験後地等

### 2.現状の日本、諸外国の問題

- ・候補地の利害関係者・周辺住民等の反対
- ・国土の狭い国、地質的に問題のある国等では、不可能

### 3.解決案

- ・日本では、国内法等の改訂を行い国外での処分を可能とする。
- ・国際原子力機関(IAEA)が策定した国際条約である「使用済燃料管理及び放射性廃棄物管理の安全に関する条約」を改訂し国際協調等により、他国での処分も可能とする。

### 4.その他

- ・日本、諸外国の今までに培ってきた技術を最大限活用。
- ・国際レベルで技術管理方法等の標準化
- ・資金面は、世界銀行等の活用で透明・公平に賛同する国の拠出額の算定 及び土地提供国への土地使用費等の支払い等。